

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 南幌苑
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園
共同生活援助 ハイツ ひまわり

— 目 次 —

- ・ 社会福祉法人南幌苑本部 P 1 ~ 7
- ・ 南幌めぐみ学園 P 8 ~ 12
- ・ GHハイツひまわり P13 ~ 14
- ・ 関係資料 P15 ~ 34

1. 法人の事業運営

令和3年度においても、新型コロナウイルス感染拡大が世界的に猛威を振るい、変異株の急増に伴い、道内においても医療機関、福祉施設における感染やクラスターが多く報道され、1年を通して、第4波、第5波と第6波と感染者の増減を繰り返した。

各事業においても感染予防の概念から、施設内に感染症を「持ち込まない」ことを重視し、ご利用者・職員一丸となり徹底した感染予防に取り組んできました。令和3年5月より新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりご利用者・職員全員が、令和4年3月までに3回の接種を終了しました。昨年同様、ご家族の皆様には、外出・外泊・面会の自粛や中止について協力を要請し、園内清掃、消毒・換気・手洗いの強化、ご利用者・職員の体調確認に努め感染予防を徹底しました。その中で例年開催している学園行事についても、予定通りの開催はほとんどできず、スポーツ大会は規模を縮小してご利用者・職員のみで開催し、学園祭は中止となった。

非常災害対策としては、災害備蓄用食材の使い捨て容器を増やし、非常災害時や感染症が発生した場合を想定し、安全に食材の提供ができる体制整備を行った。

令和3年度の介護報酬改正については感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制が構築され、通所介護等の報酬について、感染症や災害の影響により利用者数が減少した場合に、状況に即した安定的なサービス提供を可能とする観点から、利用者数に応じて柔軟に事業所規模別の各区分の報酬単価による算定を可能とするとともに、臨時的な利用者数の減少に対応するための評価が設定された。

役職員の施設内研修においては、新型コロナウイルス感染拡大から中止となりましたが、北海道災害派遣福祉チーム員研修の大規模災害発生時における外部研修においてはオンラインでの研修で参加し認識を深め、また、感染症に関する研修においては新型コロナウイルス感染症のほか流行性のウイルスが発生した時のために、ガウンの着用や感染拡大を防ぐための迅速な処理手順について実践して、予防対策用具の再確認の研修を重ね感染予防対策を強化し危機管理の意識向上に努めた。

今後も、法人として住民の方々や関係者等の多様な主体が地域において生活上の課題を受け止めながらつながり、地域を共に創るための政策を推進し「地域共生社会」の実現に向け、確実な事業展開を行い、より一層良い環境づくりに努めていきます。

・重点事業実施状況

1) 役員研修

- 法人役員研修
次年度に延期

2) 職員研修

○施設内研修

- ・令和3年9月28日～10月6日
感染症対策実践研修

めぐみ学園食堂 職員全員

○施設外研修

北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会等に参加し、職員の資質向上に努めた。

3) 規程等の制定・改正

- ・給与規程 …… 令和4年4月一部改正
- ・各事業運営規程 … 令和4年4月一部改正

4) 大規模修繕・施設整備関係

- ・ハイツひまわり 内装・暖房設備改修工事

5) 補助事業

- ・公益財団法人JKA補助事業
福祉車両の整備（トヨタハイエースワゴン）
令和3年9月30日事業完了
- ・公益財団法人大友福祉振興財団助成事業
木製手すり取付工事（利用者玄関）
令和3年10月26日事業完了

6) 地域における社会貢献の取り組み

- ・職員、利用者による学園周辺、地域周辺の道路清掃
- ・職員、利用者による高齢者世帯の除雪
- ・南幌町への干支のウッドパズル等の寄贈
- ・ドッグラン設備の地域無料開放

・実施事業

○障がい者支援施設南幌めぐみ学園

定員	施設入所支援事業	50名	(現員51名)
	生活介護支援事業	60名	(現員57名)
	就労継続支援B型	10名	(現員4名)

○短期入所事業(併設) 定員 5名

○共同生活援助事業所 ハイッひまわり

定員 4名 (現員2名)

○日中一時支援事業 定員 5名

2. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施状況

令和3年度においては理事会5回、評議員会を1回開催し、評議員選任解任委員会を1回、監事による実施監査を4回受けた。

1) 理事会

開催年月日	会議内容
令和3年 5月26日 (書面開催)	<p>第204回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 令和2年度社会福祉法人南幌苑事業報告について</p> <p>議案第2号 令和2年度社会福祉事業会計収支決算報告について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人南幌苑 次期評議員候補者の推薦(案)について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人南幌苑 役員(理事・監事)の選任(案)について</p> <p>議案第5号 社会福祉法人南幌苑 評議員選任解任委員の選任(案)について</p> <p>議案第6号 2021年度競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金交付決定について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 令和2年度第4回(決算)内部監査結果報告について</p> <p>2) 令和3年度実施事業に係る共同募金助成申請審査結果について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の評議員会、理事会の開催日程について</p>
6月11日	<p>第205回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 社会福祉法人南幌苑 理事長の選任について</p> <p>議案第2号 社会福祉法人南幌苑 常務理事の選任について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人南幌苑 相談役の選任について</p> <p>2. その他</p> <p>1) 今後の理事会の開催日程について</p>

開催年月日	会 議 内 容
9月22日	<p>第206回理事会</p> <p>1. 議事 議案第1号 社会福祉法人南幌苑 監事監査規程の制定（案）について</p> <p>2. 報告事項 1) 令和3年度第1回(6月末)内部監査結果報告について 2) 令和3年度北海道社会貢献賞（社会事業関係功労者）受賞者の決定について 3) 北海道災害派遣福祉チームの派遣に関する協定書の締結等について 4) 公益財団法人JKA「2021年度福祉車両の整備」補助事業について 5) 2021年度大友福祉振興財団助成金交付申請について</p> <p>3. その他 1) 今後の理事会の開催日程について</p>
12月3日	<p>第207回理事会</p> <p>1. 議事 議案第1号 社会福祉法人南幌苑 給与規程の一部改正（案）について 議案第2号 社会福祉法人南幌苑 臨時雇、日々雇員就業要綱の一部改正（案）について</p> <p>2. 報告事項 1) 令和3年度第2回(9月末)内部監査結果報告について 2) 令和3年度全国社会福祉協議会会長表彰被表彰者の決定について</p> <p>3. その他 1) 令和3年度社会福祉協議会会長表彰について 2) 今後の理事会・評議員会の開催予定について</p>

開催年月日	会 議 内 容
令和4年 3月17日 (書面開催)	<p>第208回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 令和4年度社会福祉法人南幌苑事業計画（案）について</p> <p>議案第2号 令和3年度社会福祉事業会計補正収支予算（案）について</p> <p>議案第3号 令和4年度社会福祉事業会計収支予算（案）について</p> <p>議案第4号 社会福祉法人南幌苑福祉サービス相談委員及び虐待防止委員の任期満了に伴う委員の選任について</p> <p>議案第5号 社会福祉法人南幌苑 給与規程の一部改正について</p> <p>議案第6号 社会福祉法人南幌苑 事業別運営規程の一部改正（案）について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 令和3年度第3回(12月末)内部監査結果報告について</p> <p>2) 職員採用及び人事について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の評議員会、理事会の開催日程について</p>

2) 評議員会

開催年月日	会 議 内 容
令和3年 6月11日	<p>第48回評議員会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第1号 令和2年度社会福祉法人南幌苑事業報告について</p> <p>議案第2号 令和2年度社会福祉事業会計収支決算報告について</p> <p>議案第3号 社会福祉法人南幌苑 役員（理事・監事）の選任について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 社会福祉法人南幌苑 評議員の選任について</p> <p>2) 令和2年度第4回（決算）内部監査結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期評議員会の開催日程について</p>

3) 監事監査

開催年月日	会 議 内 容
令和3年 5月18日	令和2年度第4回内部監査（決算）
7月27日	令和3年度第1回内部監査（6月末）
10月26日	令和3年度第2回内部監査（9月末）
令和4年 2月15日	令和3年度第3回内部監査（12月末）

4) 評議員選任解任委員会

開催年月日	会 議 内 容
令和3年 5月28日	第5回評議員選任解任委員会

令和3年度 南幌めぐみ学園事業報告

I 概況

1. 運営概況

1) 運営全般

令和3年度は新型コロナウイルスの感染が一度は収束に向かうと思われましたが、オミクロン株等の新たな変異ウイルスの拡大によって感染者数の下げ止まり状態が続き、それによってご利用者の外出や外泊、面会については令和2年度に引き続き制限を設ける事となり、年間の行事についても焼肉パーティー、スポーツ大会、忘年会、園内レク交流会など職員とご利用者のみの参加とした。また、令和3年9月にはご利用者の送迎等の効率化を図ることを目的として、トヨタハイエースワゴンが納車され、10月には利用者玄関内から外のスロープにかけて新たに手すりが設置されたことでより安全に利用できるよう努めた。さらに令和4年3月には食堂、男女娯楽室に大型の空気清浄機が設置され、より快適に過ごすことができるよう、環境改善を実施した。

2) 利用者の動向

①利用者の概況 ※ 資料「利用者の状況」参照

II 利用者支援

1. 障がい者支援サービス

1) 施設入所・通所支援

日中活動としては、かよえーるへ毎朝通うことで仕事へ向かう意識付けを図り、それぞれに合った活動を広い空間で行い安定した毎日を送っていただけるよう努めた。

通所支援においては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、1月中旬から現在に至るまでご自宅での待機としていただき、毎日の電話連絡によって様子の確認を行った。

ご利用者個々の支援については、個別支援計画に沿って定期的にモニタリングを行いながら見直しを図り、個々の状況に合わせた支援を提供した。

2) 日中活動支援

生活介護支援事業は、高齢化が進む中で自閉症・自閉傾向などの障がいの重い人や、強度行動障がい（パニック等）・身体障がいとの重複障がいにおいて、リハビリ訓練やストレッチ、ウォーキングなどを実施し、身体機能維持・体力増進に努めた。

生活訓練科は、創作活動で和紙工芸や縫製品、ハーバリウムの製品及び軍手製品の制作に取り組み、仕上がった製品を福祉の店・元気ショップいこ〜る（札幌駅）、元気ショップ（大通り）、福祉の店ふゆる（JR北広島駅）、マンマルーナ（就労センターオプス）へ納品し、販売を行っている。その他、南幌町観光協会、南幌温泉、わんだフルCAFE、空知信用金庫にて展示し販売を行っている。また、日常生活に必要な訓練・支援（歯磨き・髭剃り・洗顔・洗濯・整理整頓等）を個別に実施した。

紙器加工科は、通年で下請け業者（ポロトナ、北辰フーズ、山東印刷）からの箱折り各種・菓子詰めなどの委託作業を継続して実施した。

作業訓練科は、ミニトマト・じゃがいもを畑で育て、採れ立てのものをご利用者の食材として提供し、わんだフルCAFEでも販売を行っている。また夏場は草取り、冬場は除雪など環境整備に取り組み、また、町からの委託作業としてペットボトルのキャップを回収、洗浄作業を行い、その他自立課題として個々に合った課題を提供した。

3) 就労継続支援

就労継続支援B型事業は、長期実習先であるスリービーに2名が自立生活を目指して実習に取り組みました。新型コロナウイルスの感染拡大により、長期に渡って実習中止を余儀なくされることもありましたが、状況に合わせての参加となった。

菓子工房もぐもぐは、4名が手作りクッキーなどの焼き菓子作りとコーヒーの宅配サービスを行いました。手作りクッキーなどは南幌町観光協会、セブンイレブン、南幌温泉、福祉ショップふゆーる(JR北広島駅構内)、元気ショップいこ〜る(札幌駅)、元気ショップ(大通り)にて販売を行った。

4) 余暇支援

余暇活動では、新型コロナウイルス感染拡大による影響で様々な行事が見送りとなったため、個々に居室を基本として過ごしながら整容や整理整頓、天候の良い日は散歩に出掛けました。

また、屋外での焼肉パーティーやスポーツ大会、屋内においては忘年会、節分、園内レク交流会など可能な限り実施した。

5) 苦情解決

ご利用者からの苦情や相談については、月に1度開催している生活懇談会や常設の投書箱にて随時受け付けるとともに、日常的にも個々のご利用者の要望をよく聞き、その悩みや相談、抱えている問題に関し職員がともに認識を持つよう努めた。

職員は北海道知的障がい福祉協会の「人権侵害ゼロへの誓い」に署名し、虐待防止や権利擁護について、定期的に会議等の中で取り入れ、新聞やニュースで取り上げられた事案について繰り返し周知徹底を図った。

6) 保健衛生・医療

年2回の健康診断および毎月の身体測定・歯科訪問診療・皮膚科往診、日常の健康管理に関しては町立南幌病院や北広島メンタルクリニック主治医(穴澤医師)による問診のほか、看護師が体調確認を行なっています。毎月の身体・血圧測定のほか医師の指示等で定期的なバイタルの測定や排泄確認が必要な方は個々に記録をした。

今年度についても新型コロナウイルス感染予防として、マスクの常時着用、館内や手指の消毒、換気を基本として実施し、起床時、10時、16時、就寝前の検温、職員は出勤から退勤まで計4回定期的に検温を行いながら予防を徹底し、感染することなく現状維持を図った。また、新型コロナウイルス罹患者が出たことを想定して段ボールベッドを備蓄し、感染を広げないための対策研修を職員全員で実施しました。インフルエンザ予防について、予防接種を全員が受け、重篤化しないための感染予防に努め、罹患者なしで終えることができた。さらに、ノロウイルス等の食中毒に備えて嘔吐物の緊急処理用具をめぐみ学園内に2か所、地域生活支援センター「かよえ〜る」に2か所、自立訓練支援センター「ふれあい」に2か所、ハイツひまわりに1か所の計7か所に設置し、嘔吐時の処理の手順を学ぶ講習会を職員全員で実施した。

毎月の生活懇談会でご利用者にご医療の指導を行い、病気や健康への配慮をしました。

7) リスクマネジメント

令和3年度は、転倒や打撲による骨折がありました。転倒事故の要因としては、機能障がいや前方不注意であり、声掛けで注意すべき所に意識を向けてもらうよう努め、移動時は側での見守りや付き添いの強化に努めています。令和3年度のヒヤリハット事例は16件あり、転倒による打撲が発生し高齢や機能障がいによるものが高い割合を占めています。原因を都度分析し予防策や未然に防ぐための会議を実施した。

(令和3年度の空知総合振興局・南幌町への事故報告は 5件)

8) 栄養管理・給食

食生活は、健康の保持増進と精神的安定を図るため、適切な食事摂取基準を満たした季節感のあるバランスのよい食事を提供しました。

毎年1回のご利用者嗜好調査(アンケート)のほか、毎月の給食会議の中でご利用者・職員から給食に関する意見や要望を聞き、食事満足度の向上のために検食簿などを参考にしながら給食内容の改善に努めた。健康診断・身体計測の結果から、ご利用者の心身の状況に関する情報を看護師・支援員と共有し、食事形態に配慮するなど適切に提供してきました。また、毎月の生活懇談会でご利用者に栄養指導を行い、毎月の誕生膳や季節ごとの行事食の他、忘年会や園内レク交流会では生寿司を提供し、大変好評でした。また、選択メニュー(複数献立)や、利用者の目の前で調理を行うライブキッチンなども継続して実施した。

9) 環境整備

5月に地域貢献の一環として園外清掃を実施し、町立病院やセブンイレブンなど、通院や買い物で利用している施設や道路周辺のゴミ拾いを行った。また、6月には学園前とわんだフルCAFEの花壇に花を植え、その光景を楽しみました。ご利用者が日々「快適で安全な生活を送ることが出来るように」、必要箇所の修繕や前庭の整備など居住、生活環境の整備に努めた。

10) 防災

防災に関しては、「防災計画」に基づいて毎月1回(新型コロナウイルス感染状況によっては中止)の避難訓練と防災点検を実施し、9月には防災設備保守会社の職員立ち合いで総合避難訓練を実施し、また、本体とかよえーるには新たに防災用ヘルメットを増やし、地震・火災・風水害・夜間を想定した避難訓練を実施した。

2. 対外業務

1) 福祉実習生及びボランティアの受け入れ

福祉の専門職として知識や経験を社会へ還元することを目的とし、実習の受け入れを行った。令和3年度は新型コロナウイルスの感染状況に合わせ南幌高校より実習生1名を受け入れた。

ボランティアに関しては定期の訪問・学園行事等を通じて、地域のボランティア団体、個人の学生ボランティア等の受け入れを行っていましたが、新型コロナウイルス感染拡大により見合わせている。

○福祉実習生受け入れ 1名

○ボランティア受け入れ なし

2) 養護学校実習の受け入れ

新型コロナウイルス感染状況に合わせて7月と10月に夕張高等養護学校から1名実習生を受け入れた。

○現場実習生受け入れ 1名

3) 広報活動

学園の広報誌「南幌めぐみ学園だより」は9月・1月の年2回発行し、町内の地域住民には新聞折り込みにて配布、町外の利用者ご家族や各施設、関係機関にも郵送しています。また、学園のホームページにおいても主要行事やわんだフルCAFEの営業等について掲載、更新を行った。

感染状況による外泊や外出制限によって、「学園の近況について」を定期的に保護者に発送し、近況について写真や文書によってお知らせしました。

3. 管理業務関連

1) 職員研修

ご利用者へのサービス提供の基本となるサービス管理責任者研修や、災害発生時に必要とされる災害派遣福祉チーム員登録研修など、必要な研修についてリモートで参加しています。また、定期的に会議の中で虐待や権利擁護の研修会を開催し、ご利用者の支援の在り方について考える機会を設けている。更に、施設内研修として例年同様に感染症対策研修を行い、感染者が出た場合の行動手順について職員全員で確認し、発生に備えた。

※資料「事業実施経過」参照

2) 年間行事

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催や参加が可能な行事について検討し、選定して実施した。

※資料「事業実施経過」参照

Ⅲ その他の事業報告

1. 短期入所事業・日中一時支援事業

1) 概況

短期入所事業・日中一時支援事業については、新型コロナウイルス感染状況を確認しながら利用前の体調確認の徹底を図り、1月中旬頃から現在に至るまで感染者数の下げ止まり状態が続いていることを受け、利用を見合わせて頂く等の措置を講じてきました。前年に引き続き個々の体力、能力等を勘案し個別支援計画に基づいて施設ご利用者の日課等に合わせて支援を行い、在宅の知的障がい児・者の地域生活を支えるサービスとして運営することができました。

2) 利用状況

短期入所利用者は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、昨年と比べ減少していますが、新規短期入所利用は施設入所希望者の体験利用を行い、その後の入所に繋がりました。

日中一時支援利用については、通所ご利用者の利用時間延長や児童の利用が多くを占

め、働き世代の家庭に幅広く対応することができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響による学校休校に伴い、利用についてご家族の要望に可能な限り対応した。

※資料「短期入所・日中一時支援利用状況表」参照

令和3年度 GHハイツひまわり 事業報告

ハイツひまわりでは、健康で明るく安心・安全に、一人ひとりの生活習慣や価値観を尊重し、多様なニーズに対応していけるように努めている。新型コロナウイルス感染の状況を把握と可能な時期に感染予防を徹底し、買物や外食会を実施した。令和3年度は壁紙や絨毯、トイレ交換、暖房パネルヒーター設置等の工事を行い、より一層充実をした暮らしを提供できるよう整備した。

○食事

グループホームの食事は、日常生活における家庭らしさを大切に世話人が調理をして提供しています。余暇日には、食事の献立を職員と共に考えて、旬な食材を選んで調理をする事も楽しみとなっています。季節に合わせた行事食や誕生日にはお好みのメニューを献立に取り入れ、夏場には畑にて収穫した新鮮野菜を使って調理を行いました。新しい食事のスタイルとして、町内のデリバリーサービス利用の希望も多く聞かれ、少人数で食卓を囲みながらマスク会食を楽しまれた。

○清掃

自室や共有スペースの清掃と消毒を行いながら、清掃を保ち感染予防にも努めることができます。衣類の整理整頓、ゴミの分別などが苦手な方は、世話人と一緒に清掃を行いながら、居心地の良い生活環境で過ごしていけるように努めた。

○余暇活動

余暇活動では、全国的に新型コロナウイルスが流行し、地域行事や様々なイベントが中止となり、手芸や編み物などの新たな取り組みや、天候の良い日は外に散歩に出掛け、花壇の花植えや、畑で野菜を育てるなどの活動を実施した。

皆で楽しめるように誕生会、クリスマス会、ひな祭りなどを企画し親睦を深めた。

○健康管理

季節の変わり目に身体の不調を訴えて、体調を崩すご利用者が見られたため、必要に応じて医療と連携して通院等の支援を行った。十分な睡眠や食事と栄養をしっかりと摂り、生活リズムを整えていけるように支援してきました。朝、夕方の検温と体調の確認を実施し、外出時にはマスクの着用と帰宅時には手洗いと消毒し、自ら感染予防をすることができます。心身共に安心して過ごせるように、コミュニケーションを図りながら相談に応じている。

○個別支援計画

ご利用者の希望する生活の実現に向けて、意向を確認しながら個別支援計画の作成を行い、本人の承諾を得た後に、その計画に沿って福祉サービスの提供を実施した。定期的にモニタリングをしてサービスを見直した。

○地域生活支援

近隣の方々と挨拶を交わしながら、回覧板、ゴミ当番など町内の役割を行いながら交流を大切にしています。今年度の冬場は大雪であり、地域住民の方々や施設職員とともに除雪を協力して行った。

○避難訓練

4回の避難訓練（地震想定を含め風水害、火災訓練）を行い消防署への通報練習と避難場所の再確認をして防災対策の意識を高めた。

1. 職員体制

管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名（兼務）
世話人 1名（専任） 生活支援員 3名（兼務）
※ その他、バックアップ施設職員にて、随時支援した。

2. バックアップ施設

障がい者支援施設南幌めぐみ学園

3. 利用者（定員4名）

令和4年3月31日

氏名	市町村	性別	年齢	区分
Aさん	岩見沢市	女	55歳	3
Bさん	当麻町	女	53歳	3

4. 行事实施状況

開催年月日	主たる事業の内容
令和3年	
4月 5日	定期健康診断
6月 17日	花見 焼肉パーティー（めぐみ学園前庭にて）
6月 27日	避難誘導訓練（風水害）
7月 6日	スポーツ大会（めぐみ学園地域交流ホールにて）
9月 17日	避難誘導訓練（地震想定・火災）
11月 2日	定期健康診断
12月 15日	忘年会（めぐみ学園地域交流ホールにて）
12月 24日	クリスマス会（グループホームにて）
12月 28日	避難誘導訓練（火災・地震）
令和4年	
3月 3日	ひな祭り（グループホームにて）
3月 9日	園内レク交流会（めぐみ学園地域交流ホールにて）
3月 31日	避難誘導訓練（火災想定）
	* 町内外食会・誕生会の実施

資 料

1. 事業実施経過

2. 職員の配置

3. 利用者の状況

(1) 月別在籍者状況

(2) 入退所者状況

(3) 利用者年齢調

(4) 利用期間調

(5) 利用者出身市町村調

(6) 障害状況

(7) 面会状況

(8) 外出状況

(9) 外泊状況

4. 短期入所・日中一時支援

(1) 短期入所利用状況

(2) 日中一時支援利用状況

(3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

1. 事業実施経過

開催年月日	主たる事業の内容
令和3年 4月	
1日	第34回開園記念日（開設33周年） 辞令交付
3日	わんだフルカフェ今年度営業再開
5日	定期健康診断 地域交流ホール 利用者 職員
15日	空知知的障がい福祉協会幹事会 リモート 事務局1名 めぐみ会役員会 会議室
30日	空知知的障がい福祉協会理事会 リモート 理事長 事務局1名
5月	
3日	わんだフルカフェ臨時休業 (新型コロナウイルス拡大のため)
10日	新型コロナウイルスワクチン接種（1班 1回目） 地域交流ホール 利用者65歳以上4名 職員21名
13日	空知知的障がい福祉協会幹事会 リモート 事務局1名
13日	利用者工賃支給日
19日	新型コロナウイルスワクチン接種（2班 1回目） 地域交流ホール 利用者65歳以上4名 職員15名

開催年月日	主たる事業の内容
令和3年	
5月	
26日	<p>地域貢献事業 園外清掃</p> <p>かよえ～る周辺、南13線セブンイレブン前から西8号信号</p>
29日	<p>社会福祉法人愛誠会 むかわ町 理事長 事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別養護老人ホーム愛誠園（新型コロナ感染発生） お見舞い 50,000円 感染予防用具提供 サージカルマスク1,000、ビニール手袋2,000、予防衣200セット（ガウン、キャップ、シューズカバー）、使い捨て食器200セット（割りばし、スプーン、汁用容器、井用容器） ・ 就労継続支援事業所むかわ夢風船 視察見学
31日	<p>新型コロナウイルスワクチン接種（1班 2回目）</p> <p>地域交流ホール 利用者65歳以上4名 職員21名</p>
6月	
1日～	<p>一般65歳以上ワクチン接種のキャンセルがあった場合</p> <p>65歳未満入所・通所利用者順次接種 あいくる</p>
9日	<p>新型コロナウイルスワクチン接種（2班 2回目）</p> <p>地域交流ホール 利用者65歳以上4名 職員15名</p>
17日	<p>焼肉パーティー めぐみ学園前庭</p>
25日	<p>全道施設長セミナー オンライン 理事長</p>
7月	
6日	<p>スポーツ大会 地域交流ホール</p>

開催年月日	主たる事業の内容
令和3年	
7月	
8日	空知知的障がい福祉協会幹事会 オンライン 事務局1名 職員1名 めぐみ会役員会 会議室
14日	夕張高等養護学校 実習1名
15～16日	防火管理者講習 岩見沢市 職員1名
17日	わんだフルカフェ再開
20日	栗山地区安全運転管理者法定講習 栗山町 職員1名
28日	利用者外食会 男性4名 岩見沢市ワークつかさ
29日	利用者外食会 女性4名 岩見沢市ワークつかさ
30日	道都大学施設見学 通信課程先生1名、学生4名
8月	
3日	利用者外食会 男性4名 岩見沢市ワークつかさ
4日	利用者外食会 女性3名 岩見沢市ワークつかさ
6日	新型コロナ感染拡大による わんだフルカフェ臨時休業
11～12日	床ワックス掛け（本体、ふれあい棟）
13～17日	作業休み

開催年月日	主たる事業の内容
令和3年	
8月	
19日	「福島ひまわりプロジェクト」交流事業 わんだフルカフェ 福島市3名 道内関係者3名 町関係者2名
19日	空知知的しょうがい福祉協会合同研修会
9月	
7日	利用者外食会 7名 わんだフルカフェ
8日	空知知的しょうがい福祉協会知連協議会
9日	床ワックス掛け (かよえ〜る)
16日	利用者外食会 8名 わんだフルカフェ
28日	施設内研修 ノロウイルス感染症対策研修会
10月	
5～6日	施設内研修 ノロウイルス感染症対策研修会
6～7日	全国知的障がい関係施設長等会議 オンライン 理事長
11日	食品衛生実務者講習会 岩見沢市 職員1名
11日	食品衛生実務者講習会 岩見沢市 職員1名
14日	空知知的障がい福祉協会幹事会 オンライン 職員1名
14日	夕張高等養護学校実習1名

開催年月日	主たる事業の内容
令和3年	
10月	
17日	わんだフルC A F E M E G U M I 3周年記念イベント
21日	めぐみ会役員会・内部監査
11月	
2日	定期健康診断 利用者・職員 地域交流ホール
10日	インフルエンザワクチン接種 町立病院 利用者15名
10～11日	利用者一泊温泉旅行 南幌温泉 利用者2名 理事長 職員1名
11～12日	南幌高校インターンシップ1名
15日	全国障がい者支援施設部会北海道大会 オンライン 職員1名
17日	インフルエンザワクチン接種 町立病院 利用者15名
19日	権利擁護セミナー オンライン 職員1名
24日	インフルエンザワクチン接種 町立病院 利用者16名
25日	「松上利男氏 講演会 障がい者虐待防止法に基づく体制整備について」 オンライン 職員1名
12月	
1日	インフルエンザワクチン接種 町立病院 利用者16名
7日	アレルギー疾患に関する研修会 オンライン 職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
令和3年 12月	<p>9日 もちつき 地域交流ホール</p> <p>11日 5法人ジョイントセミナー オンライン 職員1名</p> <p>13日 カフェサロンひまわり15名 わんだフルC A F E</p> <p>15日 忘年会 利用者・職員 地域交流ホール</p> <p>15日 空知知的障がい福祉協会三役会 地域交流ホール</p> <p>16日 夕張高等養護学校実習1名</p> <p>24日 ウィズコロナへ向け頑張ろう！！花火大会 南幌町</p>
令和4年 1月	<p>11日 新型コロナウイルス 陽性1名（職員）</p> <p>12日 岩見沢保健所 新型コロナウイルス指導 岩見沢保健所5名 あいくる1名</p> <p>13日 職員PCR検査 全員陰性</p> <p>14日 利用者PCR検査 全員陰性</p> <p>20日 新型コロナウイルスワクチン接種（3回目） あいくる 利用者4名 理事長 職員7名</p>

開催年月日	主たる事業の内容
令和4年 1月	
21日	空知知的障がい福祉協会 理事会・総会 オンライン 理事長 職員1名
21日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目） あいくる 利用者4名 職員7名
26日	北海道知的障がい福祉協会 施設入所支援部会会議 オンライン 理事長
27日	サービス管理責任者更新研修 オンライン 職員1名
27日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目） あいくる 職員5名
28日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目） あいくる 職員8名
2月	
3日	厄払い 南幌神社 利用者1名
8日	地域貢献事業 高齢者住宅除雪 職員5名
10日	全道施設長研修会 オンライン 理事長
10日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目） あいくる 利用者2名

開催年月日	主たる事業の内容	
令和4年		
2月		
13日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）	あいくる
	利用者4名	
16日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）	あいくる
	利用者4名	
17日	災害派遣福祉チーム登録研修 オンライン	職員 1名
17日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）	あいくる
	利用者6名	
24日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）	あいくる
	利用者6名	
27日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）	あいくる
	利用者6名	
3月		
1日	災害派遣福祉チーム登録研修 オンライン	職員 1名
3日	ひな祭り	
3日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）	あいくる
	利用者6名	
6日	新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）	あいくる
	利用者2名	

開催年月日	主たる事業の内容
令和4年 3月 9日 10日	 園内レク交流会 地域交流ホール 災害派遣福祉チーム登録研修 オンライン 職員1名
毎月 実施事業	生活懇談会 身体測定・血圧測定 北広島メンタルクリニック医師問診 歯科ブラッシング指導 職員会議 給食会議 支援員会議 避難訓練 防災点検

2. 職員の配置

令和4年3月31日

職名	常勤職員	非常勤職員	計
施設長	1		1
事務員	2		2
サービス管理責任者	3		3
支援員	15	7	22
世話人	1		1
看護師	1		1
栄養士	1		1
医師		1	1
計	24	8	32

3. 利用者の状況

(1) 月別在籍者状況

区分	月別	令和3年									令和4年			合 計 (人)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
初日 在籍者	入所	50	50	50	50	50	50	50	50	51	50	51	51	603
	通所	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	10	10	138
入所者	入所									1		1		2
	通所													
退所者	入所									1				1
	通所								1		1			2

(2) 退所者状況

退所者数	退 所 者 数						
	社 会 帰 復 帰	帰 宅	長 期 院 入 所	施 設 へ 替 換	死 亡	その他	合 計
入 所			1				1
通 所						2	2

(3) 利用者年齢調

令和4年3月31日現在

年齢区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
15歳～19歳						
20歳～24歳	2		2			
25歳～29歳						
30歳～34歳		2	2		1	1
35歳～39歳	2	1	3	2	1	3
40歳～44歳	5	1	6			
45歳～49歳	10	4	14			
50歳～54歳	4	7	11	2	1	3
55歳～59歳	1	3	4		2	2
60歳以上	3	6	9		1	1
計	27	24	51	4	6	10

入 所 通 所

最小年齢 入所 通所

男 21歳0ヶ月・35歳6ヶ月

女 34歳6ヶ月・34歳4ヶ月

最高年齢

男 86歳4ヶ月・50歳11ヶ月

女 74歳7ヶ月・60歳2ヶ月

平均年齢

男 49歳6ヶ月・43歳9ヶ月

女 54歳3ヶ月・49歳1ヶ月

男女平均年齢

51歳8ヶ月・48歳0ヶ月

(4) 利用期間調

令和4年3月31日現在

期間区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
1年未満	1	1	2			
1年～2年未満		1	1			
2年～3年未満	4	1	5	2		2
3年～4年未満	1		1		1	1
4年～5年未満		1	1			
5年～10年未満	2		2	1		1
10年以上	19	20	39	1	5	6
合 計	27	24	51	4	6	10
平均利用期間	21年6ヶ月	25年3ヶ月	23年3ヶ月	6年8ヶ月	14年7ヶ月	11年5ヶ月
最高利用期間	33年11ヶ月	33年11ヶ月	33年11ヶ月	16年11ヶ月	18年11ヶ月	18年11ヶ月

(5) 利用者出身市町村調

令和4年3月31日現在

市 町 村	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
札幌市 東区	1	1	2			
札幌市中央区		1	1			
札幌市厚別区	2		2			
札幌市 北区	1		1	1		1
札幌市白石区		1	1			
札幌市清田区	1		1			
北 広 島 市	3	3	6			
江 別 市	3	6	9	1		1
小 樽 市		3	3			
夕 張 市		1	1			
網 走 市		1	1			
北 見 市		1	1			
岩 見 沢 市	1	2	3		2	2
南 幌 町	9		9	2	2	4
栗 山 町	1	1	2			
長 沼 町	1		1			
由 仁 町					1	1
妹 背 牛 町	1		1			
岩 内 町	1		1			
余 市 町		1	1			
苫 前 町	1		1			
釧 路 町		1	1			
平 取 町		1	1			
当 麻 町					1	1
遠 軽 町	1		1			
計	27	24	51	4	6	10

(6) 障 害 状 況

令和4年3月31日現在

☆ 疾 患 状 況

障 害 疾 患 名	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
聴 力 障 害	1		1			
視 力 障 害						
四 肢 ・ 体 幹 機 能 障 害		2	2	1	2	3
言 語 障 害	10	3	13	1	1	2
て ん か ん	6	6	12	1	2	3
精 神 科 疾 患 ・ 統 合 失 調 症	11	10	21	2	2	4
高 血 圧	2	3	5		1	1
低 血 圧						
糖 尿 病						
骨 疾 患		3	3			
腎 臓 疾 患	1	1	2	1		1
肝 臓 疾 患	2		2			
心 臓 疾 患	1		1	1		1
甲 状 腺 疾 患		2	2			
皮 膚 疾 患	7	4	11		2	2
パーキンソン症候群						
自 閉 症 (傾 向)	15	6	21	1		1
ダ ウ ン 症	2	3	5	2	1	3

☆ 知 能 指 数

知 能 指 数 (程 度)	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
測 定 不 能 (全 介 助 を 必 要)	1	1	2			
I Q 3 5 以 下 (常 時 介 助 を 必 要)	20	14	34	3	2	5
I Q 3 6 ~ 4 9 (介 助 指 導 を 必 要)	3	7	10		1	1
I Q 5 0 以 上 (一 部 介 助 指 導 必 要)	3	2	5	1	3	4
計	27	24	51	4	6	10

(7) 面 会 状 況

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	1 人	0 人	1 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	2 人	1 人	3 人
2 回	2 人	0 人	2 人
1 回	5 人	5 人	10 人
面 会 な し	17 人	18 人	35 人
計	27 人	24 人	51 人

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	0 人	0 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	0 人	0 人	0 人
2 回	0 人	0 人	0 人
1 回	0 人	0 人	0 人
面 会 な し	0 人	2 人	2 人
計	0 人	2 人	2 人

(8) 外出状況

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	0人	0人
5～9回	0人	0人	0人
1～4回	0人	3人	3人
なし	27人	21人	48人
計	27人	24人	51人

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	0人	0人
5～9回	0人	0人	0人
1～4回	0人	0人	0人
なし	0人	2人	2人
計	0人	2人	2人

(9) 外泊状況

☆ 外泊回数

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	0人	0人
5～9回	0人	0人	0人
1～4回	15人	9人	24人
なし	12人	15人	27人
計	27人	24人	51人

※ 最高外泊回数 4回

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	0人	0人
5～9回	0人	0人	0人
1～4回	0人	0人	0人
なし	0人	2人	2人
計	0人	2人	2人

※ 最高外泊回数 0回

☆ 外 泊 期 間

南幌めぐみ学園

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	0 人	0 人	0 人
3 1 日 ~ 4 0 日	0 人	0 人	0 人
2 1 日 ~ 3 0 日	0 人	0 人	0 人
1 1 日 ~ 2 0 日	0 人	0 人	0 人
1 日 ~ 1 0 日	1 5 人	9 人	2 4 人
な し	1 2 人	1 5 人	2 7 人
計	2 7 人	2 4 人	5 1 人

ハイツひまわり

日 数	男	女	合 計
4 1 日 以 上	0 人	0 人	0 人
3 1 日 ~ 4 0 日	0 人	0 人	0 人
2 1 日 ~ 3 0 日	0 人	0 人	0 人
1 1 日 ~ 2 0 日	0 人	0 人	0 人
1 日 ~ 1 0 日	0 人	0 人	0 人
な し	0 人	2 人	2 人
計	0 人	2 人	2 人

☆ 入院による外泊

南幌めぐみ学園

男性	A (男)	B (男)	C (男)	D (男)	計
入院回数	1 回	回	回	回	1 回
入院日数	1 7 日	日	日	日	1 7 日
主 病	左大腿骨頸部 骨折				

女性	A (女)	B (女)	C (女)	D (女)	計
入院回数	1 回	1 回	1 回	回	3 回
入院日数	8 1 日	2 7 日	6 7 日	日	1 7 5 日
主 病	服薬調整	右大腿骨骨折	服薬調整		

4. 短期入所・日中一時支援

(1) 短期入所利用状況

	令和 3年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和 4年 1	2	3	合 計
	実人員	2 (3)	1 (1)	2 (3)	3 (6)	1 (4)	2 (4)	6 (3)	5 (3)	5 (1)	3 (1)	1 (2)	3 (2)
延日数	44 (46)	31 (31)	32 (51)	48 (85)	31 (51)	43 (50)	89 (70)	106 (49)	79 (31)	67 (31)	28 (56)	61 (46)	659 (597)

※ 下段 () は昨年度実績

(2) 日中一時支援利用状況

	令和 3年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	令和 4年 1	2	3	合 計
	実人員	3 (1)	3 (2)	0 (1)	3 (3)	1 (4)	0 (4)	4 (3)	2 (2)	2 (3)	1 (0)	0 (2)	0 (3)
延日数	12 (17)	11 (23)	0 (9)	13 (13)	6 (20)	0 (24)	7 (13)	7 (14)	8 (5)	3 (0)	0 (6)	0 (8)	67 (152)

※ 下段 () は昨年度実績

(3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

市町村 区 分	札幌市	江別市	千歳市	岩見沢市	小樽市	南幌町	当麻町	合 計
	短期入所	1 (1)	0 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (0)	4 (3)	1 (0)
日中一時支援	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	2 (4)	0 (0)	5 (5)
実 人 員	1 (1)	1 (1)	1 (1)	4 (3)	1 (0)	6 (7)	1 (0)	15 (13)

※ 下段 () は昨年度実績